

魁ニュース

新年明けましておめでとうございます。

旧年中賜りましたご愛顧に厚くお礼申し上げますと共に、本年も尚一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

昨年は内需が好調で、後半は特に良かったのですが本年はどのような展開になるのか気にかかる所であります。両2年、東京をはじめ大都市中心部の異常な土地高騰、世界的な株式の値上がりなどはすべて終焉をつげたようであり、瞬間風速年率190万戸の建築着工戸数は当然それよりダウンしましょう。一方、設備投資は製造業・大企業に可成の伸びが見られるようであり、内需振興型予算の実施等と相俟って、本年も内需主導の好況が当分続くと期待できそうですが後半には多少不況感が見え隠れしてくるのではないのでしょうか。

非鉄金属市況については銅は昨年末は年初の約2倍という高値で越年しましたが需給タイト感を映して投機資金も可成算入しているため当分、破乱含みながら上値を追う展開が続くと見られます。ニッケルも供給面に問題があり大幅な値上がりを見せておりステンレス市況は今春再度の水準訂正へむけて動いていきそうであり、アルミも鎮静していた市況が又動意をみせはじめております。之からの上昇の幅はそう大きいものと思えませんが、結構日持ちしそうな感じが致します。いずれ天井をうち下方修正することになりそうですが、急激な大幅下落にはならないと思われま

す。魁は昨年一昨年に続き大幅な伸びで好成績をあげることができました。之も偏に皆様方より絶大なご支援を賜りましたお蔭であり厚くお礼申し上げます。昨年暮れ、テレビで見ましたがレストランで冷凍食品や缶詰めが大量に使われており、プロの職人が既製品を使う傾向はあらゆる業界で進行していることをあらためて知りまして、魁の伸びもこれだなと感じました。私達も注文したメニューがちょっとおそいとイライラし、早く出てくるとご気嫌ですが、オーダーしたあとの迅速さを要求するのが顧客の習性であれば、既製品を使うのもサービス向上の一環として重要な戦略であります。そこで我々は厳しいプロの目に合格するような製品の供給を心掛けることこそ重要だと考えます。

私達は本年も品質管理の徹底、迅速な納品、コストダウンのために全力を挙げて努力いたします。皆様の厳しく、暖かいご指導ご支援を謹んでお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

☆ 1月の鋸基準建値は427円/kgです

62年12月の電気銅建値は1～22日410円, 23日～31日430円で平均建値は415円45銭でした。63年1月の電気銅建値は10円上がり440円でスタートしました。従って1月の鋸基準建値は $(415.45 + 440) \div 2 = 427$ 円73銭で円未満切り捨て427円となり価格帯は400円超～450円以下の欄で前月より1ランク上がります。

☆ 「標準施工説明書」完成

このたび銅一文字鋸及組一文字緑彩の標準施工説明書が書き上がりました。工事業者の皆様にご配布下さいまして愛用者拡大にお役立て下さいますようお願い申し上げます。本日ご参考までに同封お送り申し上げます。お気付きの点がありましたら、ご教示下さいますようお願い申し上げます。

魁ニュース

1年に2度、月日の経つのは早いなあと実感する時があります。一つは年の瀬で、もう一つは1月末、この間新年に入ったと思ったらもうはやひと月たった、早いなあ……と思います。

2月に入りますと、受験生をかかえるご家庭は大変です。風邪をひかぬよう万全の態勢で試験にのぞめるよういろいろ気をくぼり、ふだんお詣りをしたことのない人もお詣りをして神だのみをしたくなります。無事合格の知らせが届いてやれやれと肩の荷が降りたらめでたしめでたしですが、それがすべり止めならムダを承知で入学金の用意をしなければならず、悩みは盡きる所がありません。銅市況は1ヶ月の間に9万円/トンも下がる予想以上に早く大幅な値下がりを行いました。昨年11月に10万円/トンの急騰を見ましたがほぼその分を下げってしまったこととなります。投機資金が入って余分に上がっただけ下げをみたといえますが現在の需給状態から見てこれ以上大きく下げることとは考えられず、小戻りする場面もありましょう。

☆ 2月の魁基準建値は380円/kgです

1月の電気銅建値は4～11日440円、12～18日420円、19～23日400円、25～30日380円で平均銅価は411円57銭でした。2月の電気銅建値は30円/kg下がり350円でスタートしました。従って2月の魁基準建値は $(411.57 + 350) \div 2 = 380$ 円78銭となり円未満切り捨て380円となります。価格帯は350円超～400円以下の欄で先月より1ランク下がります。

☆ 空きパレットご返送のお願い

パレットが不足して困っております。空いているパレットがございましたら、最寄りの返送会社で運賃着払いでお送り下さいますようお願い申し上げます。

魁ニュース

春が少しづつ近づいてきております。3月5日は啓蟄（ちつ）。冬眠していた動物たちが目覚めて地上に顔を出しはじめるとか。奈良東大寺では修二会（お水取り）の行が今日から始まっており12日クライマックスのおたいまつになります。

暑さ寒さも彼岸までといいますが、関西では、お水取りが済まなあったこうなりまへんなァが季節の挨拶言葉になっています。

3月は卒業する人、入学する人、就職する人、引越する人、人の動きが活発になります。引越屋さん是一年のピークがこの3月だそうですが、啓蟄は蛇や蛭達動物や虫だけでなく、我々人間世界にも当てはまるようです。

蛭

本日付の日経新聞は1月の新設住宅着工戸数が119,376戸で前年同月比19%増え1月の着工戸数が10万戸を上回ったのは53年以来10年振りと報じております。又地域別動向として首都圏の貸家や持ち家の増勢が頭打ちになり、代わって地方都市の持ち家や貸家着工が大きく伸び始めておりこのままいけば62年の住宅着工は170万戸を超えるのは確実に史上第二位の48年度（1,763,200戸）に迫る勢いだそうです。

建築資材の流通業者には誠に明るいニュースで本年も前半は活況で推移することでしょう。しかしこの勢いはいずれ鎮静するはずでその時に備える対策を今から考え構じていくことが何より大切と思います。「備えあれば憂いなし」。皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

☆ 3月の魁基準建値は335円/kgです

2月の電気銅建値は1～13日350円、15～22日360円、23～29日340円で平均銅価は350円50銭でした。3月の電気銅建値は320円でスタートしました。従って3月の魁基準建値は $(350.50 + 320) \div 2 = 335$ 円25銭となり円未満切り捨て335円となります。魁価格は魁基準建値300円超～350円以下の欄となり2月より1ランク下がります。

昨年11月から始まった銅の高騰は極めて激しく、又短いものでした。そして最早終熄を告げたのではないのでしょうか。

☆銅板屋根積算マニュアルのご紹介

同封のチラシは銅屋根、外装工事の正確な見積りを簡単にできるよう出版された書籍を紹介しております。お取引先の板金店さんにお薦め下されば喜んでいただけるのではないのでしょうか。当社でとりまとめ、ご送付申し上げますので注文部数はFAX e t cでご連絡下さい。

一冊 6,000円です。

魁ニュース

さくら便りが届く季節になりました。ピカピカの1年生がスタートするおめでたい日です。私達も初心にかえって気を引き締めていきたいものです。

地価の公示価格が本日発表されましたが、都市部の値上がりが大きく、昨年来たびたび言われてきていることながら土地問題についてあらためて考えさせられます。

上がって嬉しい花いちもんめと唄う人は少なく、多くの人は一生涯懸命働いても仲々自分の住む家すら持てないのでは豊かな社会、平和な社会を維持することはむつかしくなってしまうでしょう。不労所得層が増え、勤勉な人が減る傾向は避けられなくなってきた兆しを感じます。このような現象が進めばやがて国力を疲弊させることは古今東西、例をあげれば枚挙にいとまがありません。戦後の廃墟から立ち直り復興に汗を流し、今日、想像を絶した繁栄を見るまでに至ったこの40年余は長い日本の歴史の中で明治維新につぐ大快挙であり、誇るべきことでありますが、頂上を極めた感のある日本が果たして更に高い嶺をめざして進むのか、あるいは迷走をはじめて下向していくのか、それを左右するのが土地問題とはいえませんが、富の公正な配分を崩すことは、やがて日本の経済力を弱化することに繋がるだけに土地問題をこのまま放置しておくことは許されないと考えます。

御高承の如く、非鉄金属の中でもアルミ・ニッケル等が高騰しその影響でアルミ圧延品・ステンレス等が更に値上がりするようになってきております。アメリカでは既に輸入インフレの兆しが出ておりますが、大統領選挙を控えて効果的対策は何等打たれておりません。ファンダマネーが商品市況に食指を動かし価格高騰をもたらしてきているのは、非鉄金属だけでなく砂糖や貴金属等の国際商品にも及んでおります。銅にも昨年の11月のような動きがふたたび表れたとしても不思議といえない可能性が感じられます。これから暫くは原油価格の推移に注目しておくことが肝要と思われます。

☆ 4月の魃基準建値は350円/kgです

3月の電気銅建値は1～5日320円、7～14日340円、15～31日350円で平均銅価は341円80銭でした。4月は10円上がり360円でスタートしました。4月の魃基準建値は $(341.80 + 360) \div 2 = 350$ 円90銭となり円未満切り捨て350円となります。したがって4月の魃の価格帯は350円以下～300円超の価格帯で前月と変わりません。

しかし計算値350円90銭、電気銅建値360円といずれも350円を超えており、5月の魃価格が1ランク上がることは現在の状況からみて必至と考えられますので、お含みおき下さいますようお願いいたします。

☆ 空パレットご返却のお願い

量のまとまったものは安全輸送のためパレットを使ってお届けしておりますが大変高価なもので、以前より空き次第運賃は着払いでお返し下さるようお願いしてきておりますが、最近このパレットが不足し生産にも響くような有様です。毎年、かなりの補充をしてくれておるにも拘らず困っております。今後、当社ではお客様毎にパレット管理を徹底し万一紛失されたり行方不明でお返しただけでない場合は製作実費（1台16,000）をご請求申し上げざるを得なくなりますので、パレット返却についてはご協力を賜りますようお願い申し上げます。

魅ニュース

4日が休日として制定され3, 4, 5と3連休になったため、本年のゴールデンウィークを満喫できた人は増えました。寒い季節の正月休み, 暑い時の盆休みと違って、この季節の大型連休は海外旅行のデラックス型をはじめとして様々な使い方がされているようで日本もレジャー時代の幕明けを迎えたと言えます。

斜陽産業部門の大手企業がレジャー産業分野へ進出する傾向が強まっており、金を使わせる産業が伸びていくようです。日本は米国の進んだ道を追っているのです。逐次、工業力は停滞しその国際競争力は弱まり、セーブしても止まらぬ消費が大幅な入超をもたらし又財政の赤字にも苦しむ現状の米国の姿に20年後の日本の姿を見るように思えます。富める国日本(実感としてピンと来ないのですが)へ今世界から沢山の人が群がって来ているのです。それが東京に極端に集中しているらしく、東京へいきますと一見で判る外国人が町を潤歩している姿を多く見かける丈でなく外観は同じ肌同じ顔つきでもどこの言葉か判らぬ言葉で話をしている人が大変多いのです。本を押し売りするバングラデシュ人グループの事がNHKのテレビで放映されていましたが、日本人にとっては、甚々迷惑な目的をもってやってくる人もそれだけ増えているのが現実のようで、住み良い環境が少しずつ触ばまれていきつつあるのを感じます。貧富の差が少なく(少しあやしくなっていますが)治安の良い国で本当に住みやすい国ですが、いつまでこんな結構な状態が続くのでしょうか。皆で考えていかねば、とりかえしのつかないことになりそうです。

☆ 5月の魅基準建値は332円/kgです

4月の電気銅建値は1~12日360円, 13~19日340円, 20~30日330円で平均建値は344円50銭でした。5月の電気銅建値は320円でスタートしましたので5月の魅基準建値は $(344.50 + 320) \div 2 = 332$ 円25銭となり円未満切り捨て332円となります。魅の価格帯は前月同様300円超350円以下の価格帯です。

魁ニュース

約130年前まで、200年余の長きに亘って鎖国をし、海外との交流が極めて乏しかった日本が今世界各国の耳目をそばだたせる工業先進国となり、著しい経済発展を成したことは、まるで夢物語を見るようで信じがたきことでありますが、どうやらあちらの国こちらの国からいわれるのだから本当の事らしいと思う昨今ですが最近、氾濫する外国人から見た日本に関する著述も比較文化論から経済経営に関するものまで実に多岐に亘り論ぜられております。宗教観・家族制度・教育・雇用制度・優秀なる官僚機構による企業保護等、色んな角度から実に詳しく分析されていますが、何より大切なことは歴史的経過を調べてみることではないでしょうか。その中で浮かんで来るのが冒頭の鎖国であります。まったく完全封鎖するのでなくオランダに対してのみ長崎出島という場を与え通商を認め、海外文化の情報入手の風穴を開けていたため、手工業的技術の蓄積は遅れず進んでいた事、武家社会秩序が崩壊し町民経済社会が興隆し資本主義経済の素地が出来ていた事、開国の際特定国の支配や干渉を受けずその選択が自由な立場であったこと事等、数々のメリットがこの鎖国にはあったと考えられます。翻って今、日本は国際化の真っ只中におります。海外諸国からの数々の注文・干渉は増加していく一方であります。その中でも最も我が国との関係が深いアメリカからの要求は、こんなことまでいいじゃないか放つといってくれと言いたくなるほど細かな点にまで及んできております。肉・オレンジ問題も日本側の主張が大幅に後退した様でまとまる雲行きですが、最後には米にまで及んで来るのは必至であります。私達が主食とし、自給率の最も高い食品である米の目先の価格差ゆえに自由化を推す声も聞きますが、ソバ粉や大豆のように自給率の低い食品になったら絶対来ないとはいえない飢餓の時代を迎えた時、我々日本人は何を食べるのでしょうか。第二次大戦後、食糧危機の時、配給の米だけで闇米を買わず餓死した裁判官がいましたが皆飢えを凌ぐため、貴重なものを手放して腹の足しになるものを買った時代がありますが、飽食の時代1億総グルメの今日では想像も出来ないことですが、今でもこの地球にそんな処があるので。コストが高くつくから安いところから買えば良いという経済学的思考は果たして正しいでしょうか。

非鉄金属の分野でも、多くの先進諸国はコストの合わないメタルは国営資本で一定量の自給体制をとるとか、国家備蓄を需給の調整弁にするとかしており、日本のアルミ地金のように99%海外輸入に頼るが如きことはあまり聞きません。日本のアルミ精錬が電力コストの高騰から国内精錬を廃し海外輸入にきりかえてからアルミ地金がここ数年銅と同様値動きの激しい商品になってきたことは決して偶然のこととは言えないのです。アルミはまだ値段が上がったり不足したりしたら代わりの品物に切り換えられる用途が一杯あります。例えばアルミ缶をスチール缶に戻すことが出来ますが、日本人の米食に代わるものはあるでしょうか。それを思うと厳然として譲れぬことは譲れぬと主張すべきであり、一時的な経済効果のみで安易な結論を出すことは誠に危険であると思います。戦後、食べざかりをひもじい思いをした男のたわ言とお読み流し下さい。今日もお母ちゃんの手料理で缶ビールドライで乾杯、ありがたいこつです。多謝多謝。

☆ 6月の魃基準建値は350円/kgです

5月の電気銅建値はロンドン金物取引所の現物相場の乱高下でめまぐるしい動きをいたしました。すなわち1~10日320円、11~16日360円、17~21日380円、23~25日360円、26~31日340円と5度も変わりました。平均銅価は351円57銭となりました。6月の電気銅建値は350円でスタートしました。従って6月の魃基準建値は $(351.57 + 350) \div 2 = 350$ 円78銭となり円未満切り捨て350円となります。魃価格帯は300円超~350円以下の欄で前月同様変わりません。

魁ニュース

10日前後には梅雨明けとなり、本格的な夏の到来と予報されておりますが、山や海や海外にどっと人が繰り出すシーズンです。

ここ数か月、穀物や非鉄金属等国际商品の投機が極めて活発になり激しい上下動をくりかえしておりますが、これも一部を除いて峠は越したかに思えます。

ドル高が自由世界各国の金利上昇を誘い、超低金利時代とも暫らくお別れの場面にさしかかってきたようであります。

土地投機、マンションブームに踊った企業の座折のニュースも報じられておりますが、株式市場も転換点に入ったと考えられます。

要約すれば、多方面で警戒警報が出だしたと言えましょう。このような時は無理は禁物、足下を固め一步一步確実に歩を進めることが肝要と思うのです。

☆ 7月の魁基準建値は364円/kgです

6月も5月と同様、電気銅建値は月初から月央にむけて上がり、後半下げるとい

パターンを描きました。すなわち、1～4日 350円 6～14日 390円

15～20日 360円 21～23日 350円 24～30日 370円で

平均建値は369円09銭でした。

7月の建値は10円下がり360円でスタートしました。従って7月の魁基準建値は

$(369.09 + 360) \div 2 = 364.545$ 円未満切捨て364円となります

この結果、魁価格帯は1ランク上がり350円超～400円以下の価格欄になりますので、ご注意願います。

☆サマービアセール開始 (7/1 ~ 8/10)

炎天下の屋根の工事も魁を使えば手際良く身体も楽です。

仕事の後はドライビールで喉をうるおしていただいたら如何でしょう。

7月1日から8月10日迄40日間サマービアセールを行ないます。この機会に新しい顧客層の開拓や、既存需要家様への使用率拡大をめざして販売促進をお進め下さいますようお願い申し上げます。

ビールは500mlの缶入り4本、又はビール券2枚、そしてレディーボーデンアイスクリーム450mlのギフト券2枚、この3種類のうちいずれかを本体2ケース毎にプレゼントすることになっています。

お得意さまへPRしていただき、売上拡大を実現下さいますようお願い申し上げます。

☆臨時休業のお知らせ

誠に勝手ながら下記の通り休業させていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

7月 9日(土) 16日(土)

8月 6日(土) 13日(土) 15日(月) 16日(火)

昭和63年8月1日

魁 ニュース

暑中お見舞い申し上げます。

戻り梅雨が7月一杯続きましたが、今年は世界中で異常な気象現象が見られ、農作物には相当影響が及んでおるようですが、いよいよ本格的な夏のシーズンがやってきました。

海や山に、はたまた海外旅行 e, t, c, 楽しいプランを樹てておられる方も多いでしょうが、一方今年はいつも長い夏休みをとる企業で休日返上で生産 up をはかる会社も多いと報じられています。

本年一杯は景気も好況を持続することは確かな感じですが、来年の見通しになるとかなり弱気な見方の方が多勢を占めているようで、経済紙面に様々な予測が出ておりますがマクロとミクロは仲々一致せず、やはり業種によって好況感の引き続く処、又、不況感が強まってくる所等様々でしょうが建築関係はスローダウンは避けられないと思えます非鉄金属市況は62年後半から63年前半にかけて、大幅な上昇を示す金属が続出しましたが需給関係は徐々に解消の方向に向かうものが増えてきました。

今後は一高一低の小さなうねりはあってもトレンドとしては下落の方向に進んでいきたいと思います。

8月は高校野球が開催され、又お盆休みがあり実働日数も少なくなり物の動きも一服しますが、暑い時はあまり無理をせず、ケガをしたり体調を崩すことのないよう皆様のご自愛をお祈り申し上げます。

☆ 8月の魁基準建値は338円/kgです

7月の電気銅建値は、1～11日 360円 12～31日 340円で平均銅建値は346円66銭でした。

8月の電気銅建値は10円下がり330円でスタートしました。

従って、8月の魁基準建値は $(346.66 + 330) \div 2 = 338$ 円33銭となり円未満切捨て338円となります。

8月の魁価格帯は300円超～350円以下の価格帯となり7月の価格帯より1ランク下がります。

☆ サマーピアーセール 8月10日で終了

7月1日より始まったピアーセールもあと10日で終了いたします。この機会を逃さず拡販下さいますようお願い申し上げます。

魁ニュース

虫の音にたしかな秋の訪れをおぼえる季節がまいりました。この夏はやたら雨が多くて変な夏でしたが、一年中で一番晴天の多いこの季節はやはりまともでないと困ります。天高く馬肥ゆる秋を願いたいものです。九月一日は『防災の日』であります。災害は忘れた頃にやってくると申しますが、いつ起こっても不思議ではありません。平常時に災害発生を想定した訓練をしておくにこしたことはありませんが、消火器の点検や設置場所の衆知徹底、非常時搬出物の確認などは最低限行しておくほうが良いと思います。まもなくソウルオリンピックが始まりますが、主催国韓国はテロ行為の発生などを防ぐため、厳しい警戒態勢をひいております。米ソ対決の接点の一つとして韓国は南北にさかれ、過去度々のテロ活動が内外で発生しているうちに、その備えは充分になされているように見受けられます。オリンピック精神に基づいた大会も、前2回は一方の不参加で常に国際政治の勢力争いが影を落としてきましたが、ソウル大会は平和裡に無事有終の美を飾ってほしいと願います。鍛え磨かれた選手の躍動美を映像を通して、手に取るように見られることは素晴らしいことで今から楽しみです。

☆9月の魁基準建値は354円/kgです

8月の電気銅建値は1～21日330円、22～25日350円、26～31日360円で平均銅建値は338円70銭でした。9月の電気銅建値は10円上がり370円でスタートしました。従って9月の魁基準建値は $(338.70 + 370) \div 2 = 354$ 円35銭となり円未満切捨て354円となります。9月の魁基準価格帯は350円超～400円以下の価格帯となり8月より1ランク上がり7月と同じ価格帯になります。

☆サマービアーセール終了

7月1日より8月10日迄40日間のセール期間中、代理店の皆様には多大のご協力を賜り無事、所期の目的を達し終了しました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

☆本ハゼ一文字について

当社では魁ニュース NO. 80 (62年9月1日発行) でお知らせ致しました通り、人工緑青銅板『緑彩』を使用した組一文字『緑彩』を製造販売いたしております。組一文字『緑彩』の特長は、緑青の濃淡パターンをランダムに組み合わせて色調の変化を意識してつけておりますので、均一で単調なものとは異なり深みがあると御好評をいただいておりますが、この商品は色調に濃淡のある板を組んで一文字葺きに成型しますので(本ハゼ)になっております。この製造設備を生かして本ハゼ一文字を製作することは容易なことです。どうしても本ハゼをとられる工事店のご要望がございましたら、詳細については当社営業担当者までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

発行63年10月3日

魁 ニュース

国土庁が7月1日調査の基準地価を発表しました。本年に入り漸く鎮静化してきましたが、昨年の値上がりは異常な高さで、益々マイホームは遠くへ行ってしまいます。

あらゆる面で日本の長所をとり入れようとする韓国でも日本の土地政策は失敗例として勉強していると言われていますが、地価の高騰は様々な歪みをもたらします。

富の平準化から貧富差の拡大へもその一つであります。真面目にコツコツ貯めていづれマイホームを持つ事が夢ときえてしまったのでは考え方も変わっていかざるを得ません。

土地は本来、天からの授かりもの私有財産ではなく使う間は借用料を払うんだという考え方はいかがでしょう。固定資産税はどんどんあげていく。それは借用料なんだと考えればどうでしょう。高い借用料を払える人は引き続き使っていけばよし、払えないものは払える程度の所へシフトする。唯一確実な利殖の道、利殖の対象とされている土地が私物化されるものではなく公の物なのだというコンセンサスが定着するように変えていく努力が必要だと思ふのです。

☆ 10月の魁基準建値は381円/kgです

9月の電気銅建値は1～20日370円、21～30日380円で平均建値は

373円50銭でした。10月の電気銅建値は390円でスタートしました。

従って10月の魁基準建値は $(373.50 + 390) \div 2 = 381$ 円75銭となり

円未満切捨て381円となります。魁価格帯は350円超400円以下の欄で前月同様変わりません。

☆ 10月21日より11月30日まで

“得得セール”実施

平素のご愛顧に感謝し、銅一文字魁及びステン一文字魁のご愛用者拡大のため“得得セール”を実施いたします。今月中旬にチラシをお届けいたしますので、工事店様へは請求書ご発送の際同封していただきますようお願い申し上げます。

本年は工事量が多く職人不足で困っておられる所もあるやに伺っておりますが、工事の能率を高める魁を是非お勧め下さいますようお願い申し上げます。使って得、景品をもらって2倍の得になる得得セールをよろしくようお願い申し上げます。

発行63年11月1日

魁 ニュース

今年の夏は平年より気温の低い雨の多い季節でしたが、東京では秋に入っても雨の日ばかりで晴れた日は極く僅かであったそうで、そして又平年より1ヶ月ほど早い冬將軍の登場と、季節の巡り方がかなり不順のようであります。日中の気温と夜の気温の差の激しい時は紅葉が一際美しくなりますが、今年は黄・朱・紅と落葉の色づきが殊の他美しく見られます。4～5年前のことになります。10月上旬、福井県大野市より九頭龍ダム沿いに岐阜県の白鳥町へ峠越えし御母衣（みほろ）ダムを経て、合掌造りの白川郷より白山スーパー林道をドライブして石川県小松へ出るコースを走ったときのことを思い出します。前夜の急な冷込みで峠付近は、真っ白になっておりそこへ全山これこそ錦というすばらしい紅葉で彩られその美しさに息を呑む思いで魅入られました。その美しさは強烈に焼き付いて未だにこの季節になると鮮やかに臉に浮かんでまいります。

皆様にも、是非一度行って見られるよう、お勧めしたいドライブコースです。

☆ 11月の魁基準建値は439円/kgです

10月の電気銅建値は、1～6日 390円、7～12日 400円、13～18日 410円、19～23日 420円、24～31日 450と大幅に上昇を続け平均電気銅建値は418円となりました。11月の電気銅建値は10円上がり460円でスタートしました。従って、11月の魁基準建値は、 $(418 + 460) \div 2 = 439$ 円となります。この結果魁価格帯は1ランク上がり、400円超450円以下の欄になります。

☆ “得得（とくとく）セール” 実施中

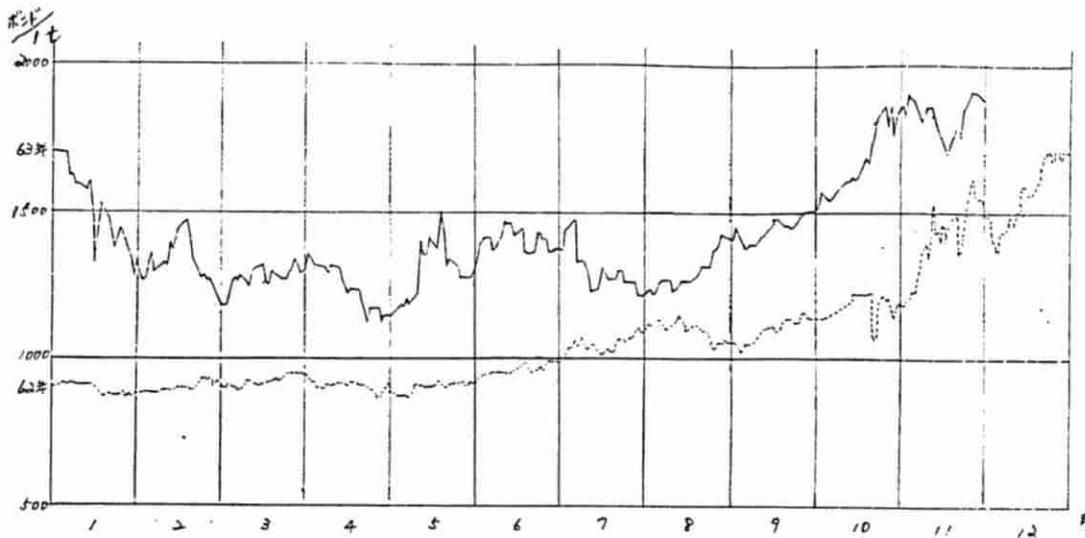
銅一文字魁、ステン一文字魁のご愛用者拡大のため“得得セール”を実施いたしております。1ランク価格は上がりましたが銅板の価格上昇ぶりと比較すれば、穏やかなほうです。し、なんと言っても施工性の良さは、猫の手も借りたい工事店さんには、最適なもので、一石二鳥のお得になろうかと存じますので、自信をもってお奨め下さい。拡販へのご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

魁 ニ ュ ー ス

今年のカレンダーも残り一枚となりました。年々歳月のたつのが早く覚ゆるようになりなんとなく焦燥感に襲われます。今年は去り行く秋の余韻をたのしむ間もなく冬将軍が到来し、晩秋がとんでしまったような感じもあって余計一年の早さを強く感じるのでしょうか。

下記に62年と63年のLME（ロンドン金物取引所）の電気銅の相場推移図を掲載しておりますが、2年前デイスインフレ時代の到来といていた頃がまったく嘘のような高水準で終始しました。来年の動きはどうなるのかむつかしいことですが皆さんは如何思われますか。1年半もフォローの風が吹いたのですから風がやんだりアゲインストの風が吹いても不思議ではなく、むしろ当然のことでしょう。又消費税が実施されることになるとそれがどのように我々の商取引に影響するのか極めて不透明で、わからないことが多事であり、来年は仲々変化の激しい年になるような予感がいたします。

本年は格別のご愛顧を賜り誠にありがとうございました。良き新年を迎えられますようお祈り申し上げますと共に新年も引き続きご鞭撻賜りますよう謹んでお願い申し上げます



☆ 1 2 月 の 魁 基 準 建 値 は 4 5 7 円 / kg です

11月の電気銅建値は1～14日460円、15～23日440円、24～30日460円で平均銅価は454円でした。12月の建値は据置で460円でスタートしました。従って12月の魁基準建値は $(454 + 460) \div 2 = 457$ 円となります。魁価格帯は450円超～500円以下の欄になり1ランク上がります。

この価格帯は昭和56年9月（基準価格451円）以来7年振りのことであり基準建値としては発売開始以来の最高価格となっております。

☆ “得得（とくとく）セール” 好成績で終了

10月21日より11月30日迄得得セールを実施いたしましたところ、代理店の皆様の絶大なるご協力を賜り、計画を上回る成績をあげることができました。心より厚く御礼申し上げます。

セール景品につきましては、当社営業担当者まで早急にご指示下さいますようお願い致します。